

**2011年3月期**

**NSKグループ中間報告書**

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

# 新たな成長基盤の確立を進めます

Top Message



代表執行役社長 大塚 紀男

## Q 当中間期の概況と販売状況についてお聞かせください。

**A** 当中間期のグローバル経済は、中国やアセアンを中心とする新興国の堅調な経済成長に牽引され、全体的に緩やかな回復となりました。しかしながら新興国経済の成長ペースの鈍化や為替相場の急激な変動が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域におきましては、前年同期に比べると自動車向けは、各国の景気刺激策等による自動車販売台数の増加により需要が回復しました。地域別にみると、日本では景気回復とエコカー減税や買換え補助金などの効果、米州では大手自動車メーカーの販売の回復、欧州では景気回復並びにユーロ安による輸出を中心とした自動車生産台数の増加、アジアでは中国・インドの自動車市場拡大がみられ、各地域とも需要が堅調に推移しました。また、産業機械向けは、景気回復により産業機械軸受及び精密機器関連製品ともに需要増となりました。地域別にみると、日本では建設機械や工作機械、半導体製造装置の増加、米州及び欧州では景気回復とアフターマーケット向け需要回復、アジアでは中国のイン

フラ関連、アセアンの情報機器、韓国の半導体製造装置の増加により、各地域とも需要が増加しました。この結果、当中間期の売上高は3,527億85百万円と前年同期に比べ36.8%の増収となりました。

## Q 収益の状況は如何でしたか。

**A** 利益面につきましては、円高による輸出採算の悪化はありましたが、売上増や生産の拡大による操業度効果、生産性の改善、外部調達コストの削減などにより営業利益は202億93百万円（前年同期は39億11百万円の営業損失）となりました。経常利益は173億47百万円（前年同期は87億16百万円の経常損失）となり、税金費用、少数株主利益を控除した結果、四半期純利益は105億65百万円（前年同期は58億94百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

### ①産業機械事業

産業機械軸受の売上高は、景気回復の効果もあり、前年同期に比べて一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが増加しました。また、各地域においても需要が堅調な推移をしたことに加え、拡販効果などにより大きく増加しました。

精密機器関連製品の売上高は、半導体製造装置向け需要が回復したことや中国の経済成長を受けた工作機械需要が堅調に推移したこと、液晶パネル用露光装置の需要増により、各地域とも大きく増加しました。

この結果、産業機械事業の売上高は1,274億61百万円（前年同期比+41.9%）となりました。営業利益は、円高による輸出採算の悪化はあるものの、大幅な物量の増加や生産性の改善、外部調達コストの削減などにより82億

36百万円（前年同期は41億39百万円の営業損失）となりました。

## ②自動車事業

自動車軸受及び自動車部品の売上高は、中国をはじめとする新興国での自動車市場拡大による需要の増加、各国の景気刺激策等の効果により、ハブユニット軸受や電動パワーステアリングを中心に、前年同期と比べて各地域とも大きく増加しました。

この結果、自動車事業の売上高は2,121億68百万円（前年同期比+32.8%）となりました。営業利益は、原材料価格の上昇などのコストアップ要因はあるものの、大幅な物量の増加や生産性の改善、外部調達コストの削減などにより135億82百万円（前年同期比+263.1%）となりました。

### Q 利益配分に関する基本方針、 当期の配当の考え方を教えてください。

A 当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしております。配当につきましては、安定的

な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えております。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり5円で実施いたします。

### Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当期は昨年10月に策定しました2012年度迄の中期経営計画の2年目に当たります。年々進展していく新興国市場における競争の熾烈化と自動車の電動化に象徴される急速な技術革新という市場構造の大きな変化に対して、経営戦略の3本柱である「成長戦略」、「体質強化」、「事業軸の強化」により、意思決定と実行のスピードを上げ、グローバル成長戦略の展開と厳しい競合環境に打ち勝つ体質強化の推進を行うことで、新たな成長の基盤を確立していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜われますようお願い申し上げます。

## ≫セグメントの変更について

当社グループは当期から報告セグメントを右のとおり変更しております。（\*）セグメント区分の変更に伴い、2010年3月期以前のセグメント情報は組替えて表示しております。

（\*）当社グループは、本社に顧客産業別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから、当期から、その構成単位である「産業機械事業」、「自動車事業」の二つを報告セグメントとしております。

2009年度までのセグメント

産業機械軸受

精密機器関連製品

自動車関連製品

2010年度からのセグメント

産業機械事業

自動車事業

# 事業セグメント別売上高の概要（連結）

Sales by Segment

## 産業機械事業

### >>> 事業内容

NSKの産業機械事業は、大形ころ軸受・精密軸受や小径～標準玉軸受等に代表される産業機械軸受事業、ボールねじ・メガトルクモータ・液晶カラーフィルター用露光装置などの精密機器関連製品事業で構成されております。

NSKは、お客様のニーズにお応えし、フルレンジの品揃えと技術力により多種多様な製品を世界のあらゆる産業・地域に供給しています。



### >>> 売上高の概要

日本国内向けは、世界規模での景気回復基調の影響を受け電機情報向け、工作機械向け、建設機械向けなど、各産業向けで需要が大幅に増加しました。

一方、海外におきましても、高成長を続ける中国・インドでの拡販のほか、米州・欧州・アジア各地域で需要が大幅に増加しました。以上の結果、産業機械事業では前年同期比41.9%の増収となりました。

### >>> 製品情報

#### クリーン環境用低発塵・低トルク玉軸受

液晶テレビや太陽電池などに使われる高機能フィルムの搬送装置などクリーン環境用途向けに従来品比で発塵量を1/100、摩擦損失を6割に低減しました。



#### ナット冷却ボールねじ

高精度化が進む工作機械向けに加工精度への悪影響を防ぐため、ねじ軸に加えナット部に冷却機構を設け、機械全体の温度変化の抑制に寄与します。

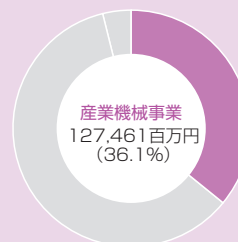
売上高

127,461百万円

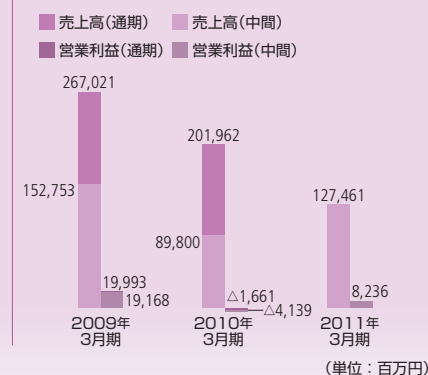
営業利益

8,236百万円

### >>> セグメント別売上高比率



### >>> 売上高・営業利益推移

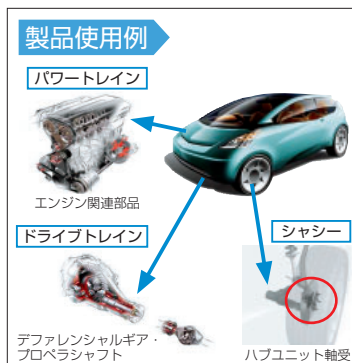


## 自動車事業

### >>> 事業内容

NSKの自動車事業は、ハブユニット軸受やニードル軸受等に代表される自動車軸受事業、電動パワーステアリングをはじめとするステアリング事業、ワンウェイクラッチなどのオートマチック・トランスミッション用部品事業で構成されております。

NSKは、環境への配慮、さらに安全性、快適性を追求した製品開発を行い、グローバルな生産拠点を活用しながら、日本のみならず、米州・欧州・アジアの自動車メーカーにも幅広く高性能・高品質の製品を供給しております。



### >>> 売上高の概要

自動車軸受及び自動車部品の売上高は、中国をはじめとする新興国での自動車市場拡大による需要の増加、各国の景気回復及び販売優遇策の効果などにより、ハブユニット軸受や電動パワーステアリングの需要が堅調に推移したことから、前年同期に比べて各地域とも大きく増加となりました。

以上の結果、自動車事業では前年同期比32.8%の増収となりました。

### >>> 製品情報

#### 耐水グリスによるハブユニット軸受の長寿命化



～過酷環境市場での耐久性向上に貢献～

新興国市場での劣悪な道路環境下で、万が一軸受内部に水が浸入した場合でも本来の軸受寿命が低下し難い耐水グリスを開発し、ハブユニット軸受のさらなる長寿命化と信頼性向上をはかりました。

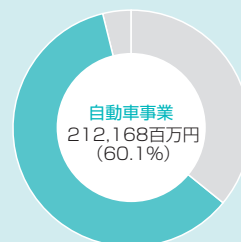
### 売上高

212,168百万円

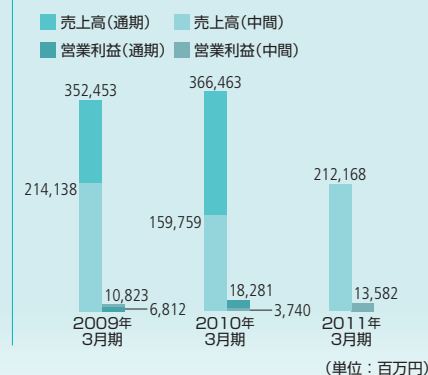
### 営業利益

13,582百万円

### >>> セグメント別売上高比率



### >>> 売上高・営業利益推移





# 中間連結財務諸表

Financial Statements

## 中間連結貸借対照表

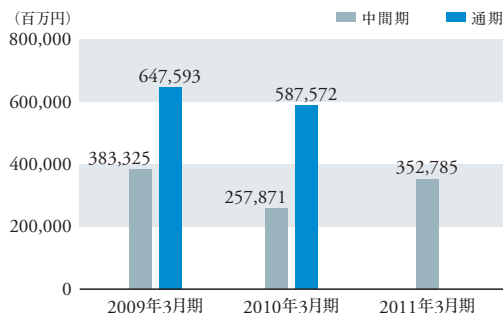
(単位：百万円)

	2011年3月期中間 (2010年9月30日現在)	2010年3月期中間 (2009年9月30日現在)	2010年3月期 (2010年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	80,270	80,847	78,421
受取手形及び売掛金	136,824	115,380	134,409
有価証券	47,790	39,041	49,438
製品	55,989	61,342	59,356
仕掛品	36,509	31,737	35,341
原材料及び貯蔵品	12,187	10,416	10,831
その他	46,289	39,819	44,606
貸倒引当金	△1,065	△1,128	△1,237
流動資産合計	414,797	377,457	411,167
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物(純額)	66,920	69,846	70,356
機械装置及び運搬具(純額)	106,304	119,228	114,460
その他(純額)	57,070	55,568	52,933
有形固定資産合計	230,296	244,643	237,750
<b>無形固定資産</b>			
	10,439	10,638	10,594
<b>投資その他の資産</b>			
投資有価証券	67,379	70,064	75,833
前払年金費用	42,830	45,215	44,247
その他	9,473	12,106	10,619
貸倒引当金	△455	△534	△589
投資その他の資産合計	119,227	126,852	130,111
固定資産合計	359,963	382,134	378,456
資産合計	774,761	759,591	789,624

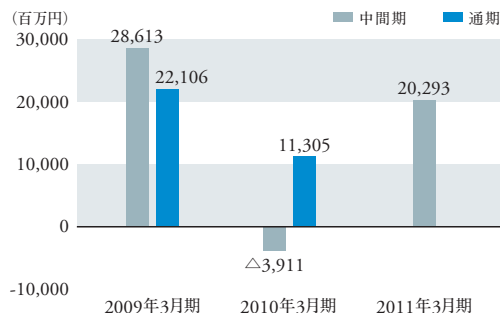
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	2011年3月期中間 (2010年9月30日現在)	2010年3月期中間 (2009年9月30日現在)	2010年3月期 (2010年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金	124,330	89,143	114,552
短期借入金	75,471	87,897	71,367
1年内償還予定の社債	15,300	17,000	25,000
未払法人税等	4,759	1,973	4,347
その他	44,290	40,204	42,439
流動負債合計	264,152	236,218	257,706
<b>固定負債</b>			
社債	95,000	110,300	95,300
長期借入金	101,816	107,481	113,270
退職給付引当金	20,921	24,113	22,948
役員退職慰労引当金	1,526	1,333	1,541
環境対策引当金	163	168	167
その他	31,552	29,930	34,001
固定負債合計	250,981	273,327	267,229
負債合計	515,133	509,546	524,935
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金	67,176	67,176	67,176
資本剰余金	78,334	78,325	78,330
利益剰余金	142,763	126,406	134,902
自己株式	△4,162	△4,156	△4,160
株主資本合計	284,111	267,752	276,248
<b>評価・換算差額等</b>			
その他有価証券評価差額金	9,174	10,558	13,701
為替換算調整勘定	△50,863	△44,156	△42,007
評価・換算差額等合計	△41,689	△33,597	△28,306
新株予約権	497	352	423
少数株主持分	16,707	15,537	16,323
純資産合計	259,627	250,044	264,688
負債純資産合計	774,761	759,591	789,624

### [売上高]



### [営業利益]



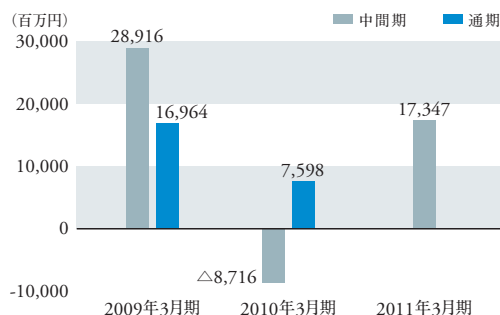
## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	2011年3月期中間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	2010年3月期中間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2010年3月期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
売上高	352,785	257,871	587,572
売上原価	281,027	216,258	482,743
売上総利益	71,758	41,612	104,829
販売費及び一般管理費	51,464	45,524	93,524
営業利益又は営業損失(△)	20,293	△3,911	11,305
営業外収益			
受取利息	410	410	815
受取配当金	433	652	1,121
持分法による投資利益	1,796	1,012	2,984
その他	1,131	1,777	4,407
営業外収益合計	3,772	3,853	9,328
営業外費用			
支払利息	2,306	2,917	5,441
製品補償費	1,596	3,931	4,516
その他	2,815	1,809	3,075
営業外費用合計	6,718	8,658	13,034
経常利益又は経常損失(△)	17,347	△8,716	7,598
特別損失			
事業構造改善費用	-	1,120	1,263
特別損失合計	-	1,120	1,263
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	17,347	△9,836	6,335
法人税等	6,115	△4,107	819
少数株主損益調整前四半期純利益	11,232	-	-
少数株主利益	666	165	750
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	10,565	△5,894	4,765

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[経常利益]



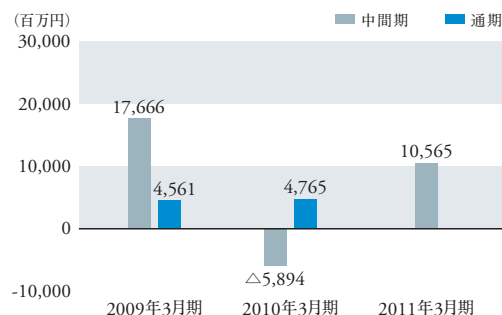
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2011年3月期中間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	2010年3月期中間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2010年3月期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	34,304	15,574	51,108
投資活動による キャッシュ・フロー	△15,276	△15,672	△29,355
財務活動による キャッシュ・フロー	△17,126	△5,860	△24,956
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1,868	813	1,219
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	33	△5,144	△1,984
現金及び現金同等物の 期首残高	123,437	124,944	124,944
連結子会社の決算期変更 による増加高	-	477	477
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	123,470	120,276	123,437

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[中間(当期)純利益]



## 中国・瀋陽市で新工場の起工式を行いました。

NSKは2010年10月20日に中国東北部の遼寧省瀋陽市において、海外では初となる、大形軸受（ベアリング）の生産拠点、瀋陽恩斯克有限公司の起工式を行いました。本工場は、中国のお客様に、高品質な大形軸受をタイムリーに供給するために、NSKグループの中国国内11ヶ所目の工場として、来春の稼働を目指しています。

中国国内外から多くの来賓を迎えて開催された起工式には、瀋陽市や遼寧省などの行政関係者、中国国内のお取引先、地域の関係者の皆様、工事関係者、NSK関係者など約100名が参列し、工事の安全と事業の発展を祈願しました。

起工式で社長の大塚は、「中国東北部の最も重要な工業都市である瀋陽市に、世界最高の技術を用いた最高品質の軸受をタイムリーに供給する世界No.1の工場を設立します。NSKは今後も成長戦略

の一環として中国事業の拡大を続けます。1995年以来蘇州地区を中心に工場をオープンしてきました。瀋陽は蘇州地区と同様、NSKの中国事業における最も重要な戦略拠点とし、中国の経済発展に貢献したいと考えています。」と挨拶しました。



## NSK NEWS



### 2010年9月3日(金)に川崎市立金程中学校2年生の生徒さん6名がNSK本社を訪れ、企業体験学習をしました。

NSKグループでは、CSR（Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任）を「企業活動を通じて、関係する幅広い人々の期待に応え、社会とNSKの持続的発展を可能にするための活動」と捉えています。

今回、企業が社会で果たしている役割や数多くの組織で成り立っている企業活動について中学生のみなさんに理解してもらうことで、将来チャレンジしてみたい仕事を考えるきっかけづくりとなるプログラムを実施しました。

生徒さんが今回の企業体験を、将来の進路選択だけでなく「働くこと」の意義を考え自らを発見する機会として役立てていただければと考えています。

NSKは今後もこのような活動を通じて、未来を担う子供たちに様々な体験をする機会を提供していきたいと考えています。



NSKは、現地に貢献し、現地の人材を活用することで、他社に先駆けて中国での事業体制の強化に取り組んできました。2009年に海外では最大規模となる中国テクノロジーセンターを設立。中国国内でNSKの全ての製品（産業機械軸受、自動車関連製品、精密機器関連製品）に関する基礎研究から技術サポートまで一貫した技術サービスを可能にしました。今回の新工場の建設により、生産面においてもNSKの全ての製品の生産が可能になります。NSKは、生産、技術、販売の総合力を活かして、急拡大を続けている中国市場を上回るペースで成長を実現していきます。



■中国大形軸受工場概要■

会社名：瀋陽恩斯克有限公司  
所在地：中国 遼寧省瀋陽市瀋陽經濟技術開發区内  
土地面積：約8万㎡  
建築面積：約2万㎡（2階建）  
資本金：2,000万ドル（約22億円）  
投資額：44億円（2011年まで）

## JIMTOF2010 第25回日本国際工作機械見本市へ出展。

2010年10月28日（木）～11月2日（火）に東京ビッグサイト（東京都・江東区）で開催された「JIMTOF2010 第25回日本国際工作機械見本市」へ出展しました。

NSKブースには、工作機械の高機能化や信頼性を支える製品や技術が展示されました。

「Your Real Partner.」というテーマには「お客様のモノづくりを支える真のパートナーを目指しサービスとソリューションを提供していきたい」という強い想いが込められています。

ブース内にエンジニアリング・コンサルテーション・カウンターを設け、NSKのエンジニアがお客様からの技術相談に直接対応いたしました。工作機械のコア部品である軸受から精密機器関連製品まで幅広い製品ラインナップとグローバルな販売サービス体制を来場者にPRしました。

台風などの天候不順にもかかわらず、中国やインドなど海外からのお客様を含め11万人を超える多くの来場者が訪れました。



# 会社概要 (2010年9月30日現在)

## Corporate Profile

会社名：日本精工株式会社 (NSK Ltd.)  
 本社：東京都品川区大崎一丁目6番3号  
 設立：1916年11月8日  
 資本金：671億円  
 従業員数：6,396名 (NSKグループ 25,207名)  
 主な事業内容：産業機械軸受、自動車関連製品、精密機器関連製品等の製造販売



## 役員 (2010年9月30日現在)

取締役会長	朝香 聖一	社外取締役	指田 禎一	執行役 常務	長竹 和夫	執行役	渡利 勝
取締役 (代表執行役社長)	大塚 紀男	社外取締役	萩原 敏孝	執行役 常務	ルバルシガタ	執行役	土井 英樹
取締役 (代表執行役副社長)	原 道夫	執行役 専務	齋藤 量一	執行役 常務	相島 雅一	執行役	鈴木 寛
取締役 (代表執行役専務)	松田 和雄	執行役 常務	新保 敏英	執行役 常務	桑原 克己	執行役	波田 安継
取締役 (執行役専務)	建部 幸夫	執行役 常務	芝本 英之	執行役 常務	内山 俊弘	執行役	神尾 泰宏
取締役 (執行役専務)	小森 勉	執行役 常務	高橋伸一郎	執行役	市川 達夫	執行役	荒牧 宏敏
取締役 (執行役専務)	正田 義雄	執行役 常務	斉藤 佳男	執行役	河島 邦雄	執行役	後藤 伸夫
取締役	田澤 正美	執行役 常務	満江 直樹	執行役	磯貝 喜七	執行役	井上 浩二
社外取締役	佐成 豊彦	執行役 常務	高川 恵介	執行役	松原 正英	執行役	鈴木 茂幸
社外取締役	植野 道雄	執行役 常務	殿塚 崇	執行役	長島 俊幸	執行役	杉本 直樹

# 株式の状況 (2010年9月30日現在)

## Shareholder Information

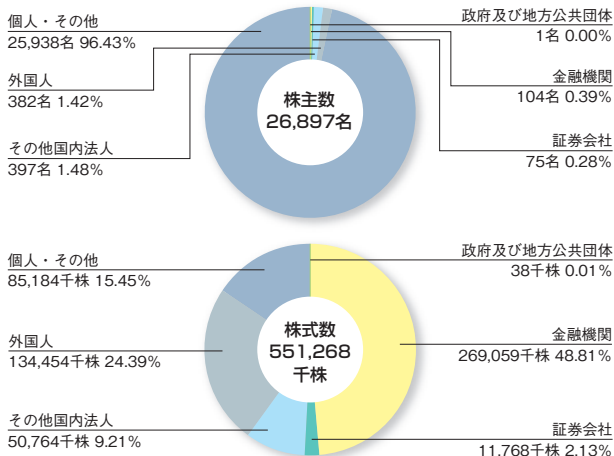
資本金： 67,176,546,655円  
 発行済株式総数： 551,268,104株  
 株主数： 26,897名

## 大株主

株主名	所有株式数	出資比率
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	41,157千株	7.47%
富国生命保険相互会社	32,000千株	5.80%
日本生命保険相互会社	30,575千株	5.55%
明治安田生命保険相互会社	26,726千株	4.85%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,572千株	3.91%
株式会社みずほコーポレート銀行	21,511千株	3.90%
ザ チェース マンハッタンバンク 385036	13,336千株	2.42%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・トヨタ自動車株式会社退職給付信託口)	10,709千株	1.94%
トヨタ自動車株式会社	10,000千株	1.81%
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,675千株	1.57%

(注) 上記以外に、当社は自己株式10,260千株(出資比率1.86%)を保有しております。

## 所有者別分布状況





## 主な事業所及び工場

東北支社	名古屋支社
日立支社	北陸支社
北関東支社	大阪支社
東京支社	兵庫支社
西関東支社	中国支社
長野支社	九州支社
静岡支社	

東日本自動車第一部	中部日本自動車部
東日本自動車第二部	中部日本浜松自動車部
東日本自動車第三部	西日本自動車部
東日本自動車第四部	

藤沢工場	埼玉工場
大津工場	福島工場
石部工場	

## 連結子会社 (91社)

### 主な連結子会社名

NSKステアリングシステムズ(株)	NSKブラジル社(ブラジル)
NSKプレジジョン(株)	NSKヨーロッパ社(イギリス)
NSKニードルベアリング(株)	NSKベアリング・ヨーロッパ社(イギリス)
NSKマイクロプレジジョン(株)	NSKベアリング・ポーランド社(ポーランド)
日本精工九州(株)	恩斯克投資有限公司(中国)
(株)天辻鋼球製作所	NSK韓国社(韓国)
NSKアメリカズ社(アメリカ)	NSKベアリング・インドネシア社(インドネシア)
NSKコーポレーション社(アメリカ)	NSKインターナショナル(シンガポール)社(シンガポール)

## 持分法適用会社 (15社)

### 主な持分法適用会社名

NSKワーナー(株)	NSKベアリング(タイ)社(タイ)
井上軸受工業(株)	

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 配当の基準日 期末配当金－3月31日  
中間配当金－9月30日
- 1単元の株式の数 1,000株
- 株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物 送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い 合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細 発行については、右の「特別 口座の場合」の郵便物送付先・ お問い合わせ先・お取扱店を ご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元 に他人名義の株券がある場合は至急ご 連絡ください。

- 公告掲載 電子公告により行います。http://www.jp.nsk.com/  
但し、電子公告によることができない事故その他やむ  
を得ない事由が生じたときは、東京都において発行す  
る日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主さま向け  
アンケート

## 株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6471**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト  
内にある検索窓に、いいかぶと  
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に  
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」  
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細  
http://www.a2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ  
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

**NSK** 日本精工株式会社

ホームページアドレス：  
http://www.nsk.com/

